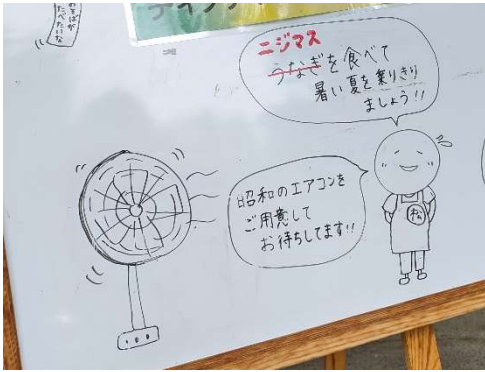


○ 決してエアコンがない言い訳をしているわけではありません、ありませんて。

7月下旬は北海道とは思えない猛暑が続きましたね。昔は家にエアコンがついていると「へえーっ」てな感じでしたが、今やついていないと「へえー」ですね（「ひえー！」かな）。当園にもここ最近「エアコンついてますか」という問い合わせが来るようになりました。「えー、まだついてませんね．．．」と答えておりますが、特に予定は．．．それはそうと、私の記憶の中で夏の暑さを実感したのが大学に入り上京した最初の夏。エアコンどころか扇風機もない部屋に住んでいて、昼間は連日どこへ避難しようか考え、夜は網戸もない窓を全開にして寝ていた記憶があります。どれくらい暑かったのかと過去の記録を調べたところ、1991年の（いかん、年がばれる）8月の東京、最高気温が30℃を超えたのが13日、35℃を超えたのは1日だけでした。すごく暑かった記憶はありますが、今よりもずいぶん涼しかったんですね。さて、当園の客室では羽根がついてくるくる回る冷房が頑張っております。ぜひ、昭和の夏を体感してください。



お客さんがショックを受けないように、玄関前でさりげなくお知らせしています。

お客さんがショックを受けないように、玄関前でさりげなくお知らせしています。

○ 網ですくわれるのと、素手でつかまれるの、どちらが幸せだろうか

7月23日に芽室公園で開催された「めむろ夏フェス」で「ニジマスつかみどり」がおこなわれました。木枠とブルーシートで作った水槽にニジマスを放し、小学生に捕まえてもらおう、というもので、当園からニジマス100匹を運びこみました。魚が弱らないようになるべくギリギリに届けようと開始時間ちょうどぐらいに公園についたところすでに長蛇の列が。魚のつかみどりはお祭りの人気企画らしく、以前清水のお祭りで開催した時も大盛況だったとか。数年前からは帯広の保育園に頼まれ、園でのつかみどりイベントに協力しております。毎日ニジマスを追いかけてまわっている身としては、何がそんなに楽しいのか．．．なんて言っちゃいけませんね。店でも「料理ご注文の方はもれなく池でつかみどりができます！」なんてやったらお客さん増えますかね。



写真は芽室町のSNSより。だんだんと弱ってくるので、後半になると楽に捕まえてしまいます。

○ 「りんごかもしれない」「ぼくのニセモノをつくるには」とくれば



問題の場面。やはりストーリーのハイライトなのか、フィギュアまで発売されています。

ヨシタケシンスケという絵本作家がいます。ここ最近では新刊が出るたび店頭で平積みになってますので目にした方も多はず。我が家でも娘三人のみならず両親含めて結構なファン。絵本といっても大人が読んでも「うーん」と考え込んでしまうような哲学的な内容のものも。私が好きなのは「もうぬげない」という絵本で、シャツが途中で脱げなくなった子が、あらかじめそのまま過ごそうとする話です。しばらくして「先にズボンを脱げばいいのでは」と思い立って、ズボンも途中で脱げなくなり「もう終わりだ．．．」と嘆く場面がイチオシです。